

いずみざき

議会だより

No.52

令和4年5月1日発行



輝く未来を子ども達へ



いずみちゃん

目次

- 表紙 …………… 泉崎第二小学校
- 2～5 ページ …………… 3月議会定例会報告
- 6～9 ページ …………… 4名の議員が村政を問う！
- 10ページ …………… 議会インフォメーション・編集後記

泉崎村HPアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

33億8,086万円

昨年度対比
10.1%の増

項 目		令和4年度	令和3年度	比較増減率(%)	説 明
歳 入	自主的財源				
	村 税	10億7,983万円	10億8,414万円	▲0.4	村民税など村に納められるもの
	分 担 金 / 他	9,100万円	8,056万円	11.2	分担金、使用料、寄付金、財産収入
	繰 越 金	1億円	1億円	0.0	前年度からの繰越金
	繰 入 金	2億2,065万円	6,948万円	217.6	特別会計や基金から繰り入れる
	依存財源				
	譲与税・交付金	2億3,537万円	2億2,939万円	2.6	市町村の均等を図るため交付される
地方交付税	9億8,500万円	7億9,000万円	24.7	市町村の均等を図るため交付される	
国・県支出金	6億901万円	5億5,732万円	9.3	国、県が使用目的を特定して交付される	
村 債	6,000万円	1億6,000万円	▲62.5	事業を行う為に借りるもの	
合 計		33億8,086万円	30億7,089万円	10.1	
歳 出	義務的経費				
	人 件 費	8億3,460万円	7億6,198万円	9.5	職員、議員報酬等に支払うもの
	扶 助 費	3億965万円	2億9,779万円	4.0	医療費・児童手当等
	公 債 費	4億2,376万円	3億9,393万円	7.6	村の借金を返済するためのもの
	投資的経費	1億6,324万円	1億3,694万円	19.2	災害復旧、建設事業等に使う
	そ の 他				
	物 件 費	6億5,976万円	5億7,703万円	14.3	賃金、業務委託料、消耗品、備品購入
	補 助 費 等	6億961万円	5億5,237万円	10.4	補助金、負担金等
	維持補修費	2,184万円	1,257万円	73.8	維持・補修するためのもの
	繰 出 し 金	2億8,817万円	2億9,717万円	▲3.0	特別会計に繰り出すもの
そ の 他	7,023万円	4,111万円	70.8	投資及び出資金、予備費、積立金等	
合 計		33億8,086万円	30億7,089万円	10.1	

議案第16号 令和4年度泉崎村一般会計予算 一質疑応答(抜粋) ــــــــــــــــ

④ 泉崎カントリーヴィレッジ・ターミナル管理運営業務指定管理料。一、意見として。全国的に旅館ホテル業界で不況の中コロナが追い討ちをかけ大変な状況になっている。同じ宿泊業であるヴィレッジも同じではないか。カントリーヴィレッジを泉崎村のメインの施設として考え、有効活用し村民の健康増進を図り泉崎村を対外的にアピールをしていくためにも、これまでの努力を評価し大きな支援をしていく必要があるのではないかと？

答弁：事業者の誘客努力があってもコロナの感染拡大により宿泊者のキャンセルが相次ぎ、泉崎観光への施設使用料も滞る等、厳しい状況。本施設は本村の観光面の核をなす施設であると共に泉崎観光における借入金の償還財源確保に重要な役割を担っている事から、年度末における経営状況確認精査の上、持続可能な支援について今後検討していく。

④ パークゴルフ場管理運営委託料増加の根拠は？

答弁：9ホールのコース増となった事で、維持管理の人件費。泉崎観光の職員が一人である事から、臨時的な窓口受付対応で人件費が増えている。

④ 決算において純利益がプラスであれば管理運営委託料増額の対象にならないのでは？

答弁：返済や修繕のため予備して計画。老朽化対応策が必要であり、継続して繰り越して貯めている。

令和4年度泉崎村特別会計・企業会計

※資本的収入額が資本的支出に対し不足する分は当年度損益勘定留保資金、過年度損益勘定留保資金で補てんされます

会計区分	当初予算額	前年度比	企業会計	水道	工業	住宅
国民健康保険	7億3,959万円	△1.7%	収益的収入	2億2,290万円	150万円	1億1,850万円
後期高齢者医療	7,000万円	10.8%	収益的支出	2億904万円	149万円	6,858万円
介護保険	5億8,893万円	5.2%	資本的収入	5千円	0円	0円
農業集落排水処理事業	1億6,646万円	△8.3%	資本的支出	4,407万円	35万円	420万円

3月定例会

令和4年度予算

会期：3月3日(木)～3月15日(火)

(欠：欠席 /：議長は採決に加わりません)

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	鈴木 盛利	小針 辰男	白石 正雄	廣瀬 英一	鈴木 義男	飛知和良子	木野内 悟	野崎 隆	岡部 英夫	鈴木 清美
議案第2号	泉崎村村営住宅基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第3号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第4号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 県の改正に準じて本条例の所要の改正を行う	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第5号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 未就学児に係る国民健康保険税の被保険者均等割額を減額する等の必要があるため本条例の所要の改正を行う	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第6号	泉崎村出産祝品贈呈に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第7号	泉崎村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第8号	泉崎村定住促進戸建住宅の設置及び管理並びに譲渡に関する条例の一部を改正する条例 7号棟の完成に伴い必要事項を規定するため本条例の所要の改正を行う	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第9号	泉崎村定住促進条例の一部を改正する条例 本条例により天王台ニュータウン、都橋住宅団地の販売促進を図るため有効期限を迎えることから12カ月延長する	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第10号	泉崎村障がい者支援センターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第11号	令和3年度泉崎村一般会計補正予算(第10号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第12号	令和3年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 441万7千円を増額し予算総額を6,843万8千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第13号	令和3年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第14号	令和3年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第15号	令和3年度泉崎村水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第16号	令和4年度泉崎村一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第17号	令和4年度泉崎村国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第18号	令和4年度泉崎村後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第19号	令和4年度泉崎村介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第20号	令和4年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第21号	令和4年度泉崎村水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第22号	令和4年度泉崎村工業用地造成事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
議案第23号	令和4年度泉崎村住宅用地造成事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/
発議第2号	ロシアによるウクライナ侵略に断固拒否する決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/

3月定例会議案の中身は？（抜粋）

【議案第2号】

新 泉崎村村営住宅基金条例
 村営住宅及び定住促進住宅の建設、修繕、改良、解体維持管理等に要する費用の財源に充てるため、条例を制定

【議案第7号】

泉崎村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例
 消防団員の処遇改善を図るため、消防団員の年間報酬の増額や、出勤報酬を創設するため条例を改正

【議案第6号】

泉崎村出産祝品贈呈に関する条例の一部を改正する条例
 子育て家庭の支援を充実させるため、出産祝品贈呈対象者に第1子及び第2子を追加するため条例を改正

【議案第10号】

泉崎村障がい者支援センターの指定管理者の指定について
 ○指定管理者となる団体
 所在地…西郷村大字小田倉字上上野原158番地1
 事業所名…社会福祉法人牧人会
 理事長 山下勝弘
 指定の期間…令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間

【議案第11号】

令和3年度泉崎村一般会計補正予算(第10号)
 6千346万6千円を減額し、予算総額を39億8千367万8千円とする

	改定後	改定前	
第1子	50,000円	-	追加
第2子	100,000円	-	追加
第3子	300,000円	300,000円	
第4子	400,000円	400,000円	
第5子	500,000円	500,000円	

○翌年度への繰越明許費（8事業） 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業、社会保険・税番号制度システム整備事業、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業、水利施設等保全高度化事業、農地中間管理機構関連農地整備事業、泉崎カントリーヴィレッジ屋外気中開閉器更新工事、村道柵内・如信沢線道路改良工事、学校保健特別対策事業

○翌年度への事故繰越し（1事業） 農地中間管理機構関連農地整備事業

歳入	金額	内容
地方交付税	△1,415万8千円	見込みによる減額補正
農業費国庫補助金	△1,576万5千円	額確定による減額補正
泉崎駅東口開発基金繰入金	△1,800万円	額確定による減額補正
新型コロナウイルス接種に係る国庫負担金及び補助金	924万円	3回目のワクチン接種に充当する予算
歳出	金額	内容
診療所費積立金	1,000万円	積立 現在：1億1千万円
農業水利施設等保全再生事業	△1,663万2千円	実績による減額補正
除去土壌運搬業務	1,364万7千円	
泉崎駅西口道路設計費	△1,800万円	事業中止による減額
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1,181万9千円	

【諮問第1号】

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の任期満了に伴い、委員の推薦につき議会の意見を求める氏名 箭内 清和

住所 泉崎村大字踏瀬字踏瀬
 任期 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

【諮問第2号】

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

氏名 菊地 幸次

住所 泉崎村大字関和久字上町
 任期 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

録画映像はスマートフォンでも視聴可能!



※アクセス件数

- ・議会会議録 延べ件数 7,014件 (月平均 49.7件)
- ・議会映像中継 延べ件数 7,173件 (月平均 50.5件)

～村HP「村議会」から確認ください～

令和4年度重点事業(抜粋)

地域・環境

◇柵内・如信沢道路改良工事

幼稚園裏から県道泉崎石川線までの区間を拡幅

3,693
万円

◇一戸建賃貸住宅工事

若者世帯の定住を図るため8棟目の戸建住宅を村内村有地に建設

1,496
万円

◇米価下落緊急対策事業補助金

令和4年度産用の水稻種子購入代金の1/2を助成する

861
万円

教育・子育て

◇出生祝品贈呈事業(制度拡充)

子どもの出生を祝福し、健全で健やかな成長を期待するため、出産祝品を贈呈する。

※今年度 第1子から該当

495
万円

◇家庭保育交付金事業

家庭保育を行っている世帯を支援するため

給付金(第2子以降3歳未満まで)5千円/月

318
万円

◇給食費無償化事業

幼稚園、小学校、中学校の給食費の無償化とする

4,411
万円

◇基礎学力向上推進事業

土曜学習、放課後学習会、検定試験等

1,191
万円

健康・福祉

◇泉崎デマンド交通事業

現在の運行計画を強化し、高齢者を含めた幅広いニーズに対応した交通支援事業を確立する

1,640
万円

◇診療所建替基金積立事業

泉崎南東北診療所及び泉崎南東北リハビリテーションケアセンター建替えに係る積立金

2,000
万円

◇敬老祝金支給事業

75歳以上の高齢者の長寿を祝い祝金の支給(1,086人)

543
万円

◇新型コロナウイルスワクチン接種対策事業

3回目のコロナウイルスワクチン予防接種の人員費、事務費

1,348
万円

◇家族介護慰労金支給事業

要介護4及び5の在宅高齢者を介護している家族へ慰労金を支給

180
万円

泉崎村の村政及び 財政の運営について

小針 村長は、歴代村長が多くのご苦労とともに築かれた泉崎村をさらなる発展につなげていくため、誠意と熱意を持って取り組んでいくと述べています。久保木村政からの継続事業の引き継ぎを受け理解されて村政の執行に当たっているとされます。そのことを踏まえ、パークゴルフ場内に予備費を充当して、豊臣秀吉の一夜城のごとき建設された建物の概要、経緯を伺います。



小針辰男議員

村長 引継ぎに関しましては、地方自治法に基づく引継ぎ、これを行っております。ただ、前執行者が実施した事業一つ一つ細部にわたって引継ぎを行うという形態のものではございません。例えば大きく分けると、各種の例規、それから各課の事務分掌、さらに引継事項、各種の財産目録、こういった内容を引き継ぐというふうな形になってございます。

予備費を充当しパークゴルフ場内にトイレを設置した経緯につきましては、村のパークゴルフ会員、それから村外の利用者の方々、そうした方々から令和3年8月頃に強い要望がありまして、早急に改良する必要があるという判断をしまして、前執行者の執行権に基づき予備費を充当して整備したと思えます。

泉崎南東北診療所 運営調整会議について

小針 総合南東北病院が令和6年4月を目標に郡山市富田町の福島県農業試験場跡地に移転、新築することを公表。計画では、同試験場跡地の約11・5ヘクタールのうち、約6ヘクタールの敷地を利用し病院と管理棟を移転する予定で総工費は20億円。これを踏まえて、運営調整会議参加メンバーの内容を伺います。

村長 南東北診療所との運営調整会議は、一般財団法人脳神経疾患研究所に指定管理を委託して以来、事務レベルでの協議を行う場として開催してきたものであります。現在、基本的には、奇数月に一度の開催としておりますが、必要に応じて臨時的に開催してきたケースもございます。運営調整会議には、村長の立場では出席しておりません。村長としての判断が必要な案件につきましては、担当課長より報告を受け、検討した上で判断することとしてきました。今後この方針により対応してまいりたいと

考えております。また任期中の大きな政策課題の一つとして位置づけしております診療所の建て替えについてはありますけれども、協議に對しましては、泉崎南東北診療所だけでなく財団からも参画していただき、まず、事務レベルでの協議調整を行いながら、必要な場面での村としての考えを示していきたいと考えております。令和4年度中には、建替えに向けた協議調整を本格化させていきたいと考えているところであります。

住民福祉課長 協議の内容

といたしましては、コロナワクチン接種に対しまして協力をいただいておりますことへの謝意を述べまして、引き続き協力をいただくようお願いをしたところでございます。その他の協議事項につきましては、これまで診療所側から示されておりました修繕箇所等につきまして修理が完了しているものと未完了の箇所の整理を行ったところであります。また、新たに発生した修繕

箇所等につきまして、診療所側の作成資料によりまして説明を受けたところでございます。村といたしましては、緊急性のある部分から優先して対応するということと、令和4年度におきましても、当面必要と思われる修繕費につきまして予算の確保を予定していることをお伝えしたところでございます。耐震補強工事に伴う損失補償金につきまして、支払時期を2月上旬とすることをお伝えいたしました。次に、新型コロナウイルス関連で、泉崎南東北診療所として、医療従事者のワクチン接種を開始するという報告がございました。診療所の満足度調査のためアンケート調査を実施するとの報告があり、次に財団理事長と村長との面談を行う調整をし、診療所建て替えの件につきましては、令和4年度中には本格協議を開始したいという村の意向をお伝えし最後に、次回開催日について日程調整を行うて、会議を終了したところでございます。

県道母畑・白河線沿線の歩道設置について

木野内 関和久地内のJA物流センターから墓地公苑入口までの間に歩道は一部しか設置されておりません。県道という事もあり交通量も多く、非常に危険なのは一目瞭然であり、ましてや子供達の通学路となっているため、早期の歩道設置が必要かと考えるが、村として県に要望は上げているのか。また、予定されているならば、いつ頃から工事が始まるのか伺います。

村長 県道母畑・白河線と県道泉崎・塙線の交差点付近については、県の事業として平成17年に、古寺地内



木野内 悟 議員

につきましても、平成26年に一部歩道が整備されており、これらを繋ぐ未整備区内は、令和4年度から工事が着手される予定となっております。さらに、古寺地内から木ノ内地内、墓地公苑入口までの区間につきましては、順次検討の上、要望してまいりたいと考えております。

木ノ内地区の砂防ダムについて

木野内 2019年10月12日の台風19号による大雨で、山から崩れてきた土砂により、ダム内での満積状態が約2年半続いており、次の災害を考えると、一日も早く取り除かなくてはならないと思うが、村としてどの様に考えているのか伺います。

村長 県に確認したところ、この施設は、砂防ダムの床固め工という工法で整備された施設であり、縦浸食、つまり河床の浸食を防止し床の安定を図り堆積物の流出を防止するためのものだという事で、現状でその

目的が達成されているという事で、管理面で浚渫を行う予定はないという回答でありました。なお、台風19号の際に、土砂が越流し、土地改良施設をせき止めるという事態が発生しましたので、同様の被害が発生しないよう、県へ災害防止策について要望してきているところであります。

その結果、令和4年度から既存の施設の上流に、同じく床固め工により施設増設する予定となっております。

木野内 先ほどの場所から約100m南下した水路に大雨が原因で山から土砂が流れてきて、水を止めてしまった経緯があり、この水路は承知のとおり、北平山地区、瀬知房地区にも供給している本水路となっており、田んぼまたは防火水として非常に大きな役割を果たしております。この場所にも砂防ダムが必要と思うが見解を伺います。

村長 この場所にも土砂が堆積していましたが、これは直近の山側からの土砂流出ではなく、上流側の砂防施設から越流した土砂が土

地改良施設に流れ込み、堆積したものであります。砂防施設は人家がないと採択要件に欠けることや、令和4年度に、上流側に砂防施設が増設されれば解決できると考えています。

新型コロナウイルスワクチン接種について

木野内 12歳以上の3回目ワクチン接種が開始されていますが、進捗と5歳から11歳の接種に関しても見解を伺います。

村長 65歳以上の方への接種を2月1日から開始しています。供給量につきましても、医療従事者、65歳以上の方は確保できており、65歳未満の方の分も国、県へしっかりと要望してまいります。5歳から11歳の接種につきましては、矢吹町の接種会場にて、3月13日より開始される予定であります。

施政方針に関する質問 村・定住者について

木野内 施政方針の中に、出産祝い第1子から祝い品を贈呈するという事で、子育て家庭の支援を拡充されます。これまでに村では、小中入学祝い品、給食、学力テスト無償化、放課後による学習会、プチスクールなど子供に対し、様々な支援をしており、近隣市町村の中でも群を抜いた支援だと考えます。

しかし、この様な支援がありながらも、人口増にいたっておりません。若い世代に住んでもらえるよう「泉崎村なら安心して子育てができる」といったバックボーンを今以上打ち出し、村内外に発信するべきと考えるが見解を伺います。

村長 これまで定住促進、戸建て住宅の募集及び分譲地販売の際に周知を図ってまいりましたが、これらに特化したPRは行っておりませんでした。本村の子育て支援策は大きな魅力となりますので、ホームページ、各種チラシ掲載、マスコミ等を通し、大いにPRを図ってまいりたいと思えます。

生活環境の改善

白石 財政再建で立ち遅れた村内生活環境の整備、本格的に取り組む時期ではないか。道路の拡幅改良、施設設備の改良、立木の剪定、側溝開渠の蓋かけなど、改善場所と改善計画を公にして事業を進める必要があるのではないか。

村長 財政再建の取り組みにより、生活環境の整備が滞っているのは紛れもない事実。選挙公約にも掲げた重要課題であり、各種施設の老朽化が著しく進んでいる。令和3年度に引き続き、令和4年度も可能な限り当初予算に計上させていきたい。



白石正雄 議員

事業量が非常に大きくなることから、年次計画により整備を進めていきたい。

情報社会の到来

白石 昨年の通常国会でデジタル関連法が成立し、9月にデジタル庁が発足しました。住民の利便性が高まり、サービスが豊かになるならば申し分ないが、国会で具体的に問題が指摘されている。個人情報や個人の同意もなく、大量に流れ出す心配がある。法律や条例で歯止めをかけながら、村民のために活用できる分野のインターネットなどは大いに活用していくことが必要ではないか。

総務課長 行政の情報化は情報テクノロジーの活用により、住民生活の利便性の向上と行政運営の効率化や透明性の向上を目的としている。インターネットやコミュニケーションツールは生活に欠かせない公共インフラとなっている。村として情報発信するだけでなく村民との相互関係を構築する手段として活用したい。コンピュータ関連費用は、

平成30年度約9千2百万円。令和元年度約1億2千2百万円。令和2年度1億4千万円。

産業・農業振興

白石 福島県や各市町村では振興公社などを作って、地域振興のために頑張っている。泉崎村としても専門分野の人材を確保して、人生をかけて泉崎村の進行発展を研究し実践する機関が必要でないか。農業振興と産業の発展を専門家に検討させ、村民と共に実践することが村を飛躍させる土台になるのではないか。

村長 行政サイドで地域振興発展に取り組むには限界がある。専門的資格を持つ人材を確保し外郭団体等を設立して実施すべきと認識している。その第一歩として(株)さつきの郷、6次産業館を建設した。6次産業館の取り組みを拡大し、地域事業者間の結びつきを強めるため、当面は国や県の6次産業化プランナーを活用していきたい。貴重な提起は今後の参考にさせていただく。

白石 外郭団体について調査していて、市町村に教育研究所を持つ自治体があることがわかった。村としては人口約1万4千人の群馬県榛東村が教育研究所を持っている。産業や農業振興についても研究所が作れると考えられる。

文化活動の重要性

白石 ニコチノイド系殺虫剤。グリホサート系除草剤。フライパン塗装に使われるフッ素化合物などは、外国では使用を禁止している国もある物質。ところが国内では身近に手軽に使用されている。人間の安全が軽視され、村民の健康が危険な状況になっていると感じる。村民と共に学習を深める必要があると思う。文化講演会を月に1回は開いて、村民に新しい知識を広めていく必要があるのではないか。

教育長 私たちの社会はさまざまな課題を負っており、複雑、多様化して来ている。経験したことのないコロナの対応も典型的なもの。これらを主体的に受け止めて判断し、行動することが求

められる。そうした教育を展開することが私たちの役目。

教育振興計画の柱の一つに、生涯学習環境の整備がある。公民館事業の推進、地域の歴史文化に学ぶ、人生100年時代を見据えた学びなどを通じ、文化面での事業を展開している。課題解決と学びの場の活動について、より一層検討していきたい。

リサイクル

白石 子供議会で出た意見をとり上げ、再活用・再生活用できるものについて、無料で提供したり販売したり、修理活用したりできるリサイクルステーションを計画してはどうか。不用品交換市なども検討する必要があるのではないか。

村長 広域圏リサイクルセンターでは分別収集して、資源の再資源化を図っている。村がリサイクルセンターを運営することに各種の問題があるし、必ずしも有益な事業であると思われない。提起については今後の参考にさせていただく。

危険通学路について

鈴木 危険通学路が全国で7万2000ヶ所あるが、泉崎村の危険通学路の現状及び対策について伺う。



鈴木義男議員

教育課長 泉崎村の危険通学路の現状と対策については、泉崎村通学路交通安全クラブなどの年間計画に基づき活動している。毎年6月に、保護者に対し通学路危険箇所アンケートを実施して、対策については、8月に通学路安全推進会議にて、書類及び現地確認により合同点検を実施している。令和3年度の点検箇所は11件、うち6箇所の現地確認を実施している。

又、年度末には、関係機関が実施した対策内容について報告し、村ホームページで公表している。

鈴木 通学路の安全対策としての補助金の活用について伺う。

村長 この補助金は、令和3年6月に発生した千葉県八街市の事故を受けて村でも、通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策に基づき通学路合同点検を実施。この合同点検は、教育委員会、村交通安全協会、地元警察、国道、県道、及び村道の管理者で行うもので、村では6箇所実施しています。点検により抽出された箇所について、速度規制や通学路の変更などソフト面での対策と併せ、道路管理者による交通安全対策が対象となるので、今後、関係機関と協議しながら検討していきたい。

鈴木 高屋原・踏瀬線で根岸の三叉路交差点は、道路構造及び安全施設上、大変危険な交差点です。危険防止の具体的な対策について伺う。

村長 この場所につきましては、村でも危険な交差点

である認識をしています。この路線は平成3年頃に道路改良が行われ、その際に地権者の協力が得られなかったことから、現在の形状になっているという状況です。

事業課長 本交差点は、継続対象箇所として令和3年8月に泉崎村通学路安全推進会議に提出しており、合同点検により現地調査を行いました。立哨及び交通指導は、孫見守り隊、地域スクラム応援隊及び第一小学校の教員により応援いただいております。尚、現地において、現状のままでもより効果的な注意喚起ができないかと泉崎の駐在所に相談し、本年2月に外側線の引き直し、文字入れ、注意喚起を行っております。

土壌・地下水汚染について

鈴木 旧三興金属工業(株)白河工場の工場敷地の土壌・地下水汚染についての案内が地区住民にありました。この件について村の対応を伺う。

村長 本件に関し村長就任後に担当課から報告を受け、昨9月に泉南地方振興局環境課より情報提

供がなされ、県が主体的に対応しているとの事でした。随時、情報提供があると思えますので、状況の推移、見守っていきたいと考えております。

住民福祉課長 昨年9月後の経過は、10月に工場敷地周辺の井戸水調査が行われ、問題の無い水質であったとの連絡を受けております。11月4日には、三興金属工業(株)の親会社である三井金属工業(株)、泉南振興局環境課、住民福祉課の三者で今後の対応について協議しております。県は、区域の指定を行い、改善に向けた措置命令を出し、三井金属工業(株)は、地区住民へ状況説明の資料配布に向けた準備を進める。村は、日程調整を行い、11月9日に協議の時間を設定したところですが、その後、地区代表振興局環境課の意見を聞き整理されたものが12月19日付で関係者へ配布されております。その後については、会社側は県への報告書作成の為、各種調査を行っております。村は今後の事態改善に向けた会社側の調査に協力していくこととしております。土壌汚染対策法に係る業務については県の業務となる事から、村は会社側及び県からの情報を得ながら

ら今後の動向を注視していきたく考えております。また、地域住民への情報提供については、時期を見極めながら取り組むよう、会社側へ要請してまいります。

鈴木 「下流排水先の新池、北側の工業団地調整池の水質汚染は大丈夫なのか」との心配の声もあります。水質調査及び現地調査の必要性について伺う。

住民福祉課長 こちらも主体的に動くのは福島県ですので、地域住民からの心配の声を県に伝えしていきたいです。また、水質調査の必要性についても県の判断によることとします。

鈴木 地区住民・自治体・事業者・土地所有者でのリスクコミュニケーションを行うようになるかと思いつが、今後の村の対応について伺う。

住民福祉課長 今後、会社側から地域住民への説明の機会、お知らせ等の配布があると思えますので、その間に立って、地区代表との日程調整、提供する情報の内容について、村の立場から意見を述べてまいります。

*** 次期定例会の予定 ***

開会 6月2日(木) / 一般質問6月7・8日(火・水)の予定

**令和3年度
泉崎村子ども議会**

○1月26日(水)
一、二小の6年生各5名の子
ども議員による子ども議会が開催
されました。議場の様子は一、
二小へリモート中継され議場での
緊張感同じように実感できたも
のと思います。



※子ども議会の詳細は令和4年
3月号の広報いずみぎきを
ご覧ください

常任委員会報告

経済文教常任委員会
3月4日(金)

令和4年3月4日、午前10時よ
り、役場議員控室において委員会
を開催し、日本労働組合総連合会
福島県連合会、白河地区連合、議
長 藤田隆司氏より提出のありま
した「福島県最低賃金の引き上げ
と早期発効を求める意見書提出の
陳情」について審議した。

福島県では、少子高齢化と人口
の減少・流出が進み、人手不足が
深刻化している。この人手不足を
補うため外国人労働者の雇用、パ
ート労働者・契約社員・派遣社員な
どの非正規労働者の雇用が増加し
ている。

また、コロナ感染拡大により、
社会経済に対する県民の不安や不
満から、県民の生命と健康を守り、
社会経済の回復と安定
働く者の努力
に報いる
ことが社会
に求められ
ている現状
から、審議
の結果「採
択」としま
した。



3月議会で決議文を提出

◇決議文の提出◇
ロシアによるウクライナ侵略に断
固抗議する決議

去る2月24日、ロシアがウクラ
イナに軍事侵攻し、隣国の主権と
領土を武力で踏みじめる暴挙に出
た。これは国連憲章及び国際法に
違反し、人道にも反する明らかな
侵略であり、第2次世界大戦後の
国際社会の秩序への無謀な挑戦で
ある。

また、核の使用をほのめかし、
世界を恫喝するなど言語道断であ
り、断じて許すことができない。
国際社会が連携し、この非道な侵
略国に対して毅然とした対応で臨
んでいかなければならない。

よって、本村議会は、ロシアに
よる前代未聞の暴挙に断固として
抗議し、即時の攻撃停止と完全撤
退を求めるとともに、日本政府に
おいては、在留邦人の安全確保に
全力を尽くしながら、国際社会と
強く連携し、経済制裁措置を始め
とする厳格な対応をとることを強
く求める。
以上、決議する。

編集後記

3月16日に福島県沖地震
が発生し、我が村におきま
しても、震度5強と大きな
揺れを感じ、11年前の東日
本大震災が脳裏をよぎりま
した。
改めて、防災の意識を感
じる事となり、また被災に
遭われた方々には、お見舞
い申し上げます。

村内を見渡すと、田んぼ
に水が入り始め田植えの準
備がなされていて、農家に
とっては最盛期を迎えてい
る事と思えます。去年から
の米価下落を受け、大変な
思いをされていると思いま
すが、我々に出来る事、そ
れは少しでもお米を食べ、
消費していききたいです。

※岡部英夫議員の一般質問につ
きましては、体調不良につき
お休みします

編集・発行責任者	鈴木 清美
編集長	鈴木 清美
編集委員会	
委員長	木野内 悟
副委員長	白石 正雄
委員	鈴木 盛利
委員	鈴木 義男
委員	岡部 英夫